

【アクションカード⑩：新経営の進め方】

以下に紹介する新経営の進め方の流れは、一般的な取組み手順です。取組み手順になら
って進める中で、わからない部分がある場合は、遠慮なく商工会に御相談ください。

①新経営の背景

モノや情報が溢れる現在、お客様はとて多様なニーズを持っています。それはお客様
ごとに違うだけでなく、お客様自身の中でも多様だったりもします。あなたの商品やサー
ビスを買い続けてくれる保証はどこにもありません。むしろ、また次の目新しいものに移
っていくという現象の方が多いいことも事実です。このような背景の中で、大きなニーズが
社会に生まれています。それが、次のようなものです。

- ・ 生きている以上、日常、健康でありたい・・・
- ・ 生きていく上で必要な自然環境は守りたいな（自然破壊は嫌だな）・・・

つまり、健康配慮と環境配慮を指します。そこで生まれた経営スタイルが健康経営と環
境経営です。ここでは、この2つを新経営と呼ぶことにします。

②健康経営とは

米国の経営心理学者ロバート・ローゼンが提唱した概念です。事業の持続的成長を図る
ためには、社員やアルバイトの健康に配慮した経営が大切だというもの。例えば食べ
物を扱う事業であれば、健康な人が関わらないと、健康な食生活を求めるお客様のニーズ
には応えられないと考えるのです。

③健康経営の取組みポイント

取組みにおいては、次のことを意識して進めます。

- ・ 社員からの健康情報の提供の仕組みを構築します
- ・ その情報に基づいて、社員の健康管理の仕組みを事業主として整えます
 - 昼食の栄養バランスやカロリー管理
 - 休日や有休の確実な消化
 - 休み時間の適切な確保
 - 健康診断はもちろんのこと社員の自主的な健康管理をサポートします（資金面や時間
の提供等）
- ・ 健康な社員で消費者の健康配慮ニーズをくみ取った商品やサービスを開発します
- ・ 健康な社員で消費者の健康配慮ニーズをくみ取った商品やサービスを拡販します
- ・ 自社の商品やサービスが、消費者の暮らしの中で健康被害を生み出していないか、
健康の増進に貢献しているかをウオッチします。

④環境経営とは

企業が持続的に発展していくために、地球環境と調和した経営を行っていくという概念です。環境問題への対策はコストがかかるものの、長期的な視野を持てば企業の持続的な発展につながるとされています。

社会においては、「生きていく上で必要な自然環境は守りたいな(自然破壊は嫌だな)・・・」というニーズは潜在的に誰しも持っており、これに応える経営を推奨することになります。

⑤環境経営の取組みのポイント

取組みにおいては、次のことを意識して進めます。

- ・事業において(商品やサービスの生産から販売)、自然環境に「悪」な要因や物質を全て洗い出します。
- ・その情報に基づいて、事業を通じて軽減または削減できる手法を開発したり、ノウハウを蓄積していきます。
- ・その手法やノウハウを日々の業務に取り入れたり、商品やサービスの改善や開発に活かしていきます。
- ・その努力をホームページやリーフレットを通じて、情報を外部に開示します。
→改善した内容だけでなく、改善できないが改善すべき項目を隠さずに記します
- ・環境配慮の重要性を認識した社員を育成する仕組みを設けます。
- ・環境配慮の重要性を認識した社員が、自社の環境配慮商品やサービスを拡販していきます。
- ・自社の商品やサービスが、消費者の暮らしの中で環境被害を生み出していないか、自然環境の保存に貢献しているかをウォッチします。

【新経営の進め方のチェックリスト】

<input checked="" type="checkbox"/>	項目
<input type="checkbox"/>	新経営の概要と背景を理解した
<input type="checkbox"/>	健康経営の概念を理解した
<input type="checkbox"/>	健康経営の取組みポイントを理解した
<input type="checkbox"/>	環境経営の概念を理解した
<input type="checkbox"/>	環境経営の取組みのポイントを理解した